

平成25年度水資源功績者表彰受賞者と功績概要

[個人]・・・1名

受賞者	功績概要
<small>おおや あきお</small> 大矢 明夫 (神奈川県)	宮ヶ瀬ダム建設にあたり、水没地域における集団移転に対する不安解消などダム建設計画の支障排除に尽力し、建設後も関係機関と連携を図り、宮ヶ瀬湖の環境保全、「宮ヶ瀬湖憲章」の制定や「宮ヶ瀬湖水源地域ビジョン」の策定、宮ヶ瀬ダムを活用した水源地域活性化などに積極的に取り組み、多大な実績を挙げられた。

[団体]・・・10団体

受賞者	功績概要
<small>せんだいしりつおおくらしょうがっこう</small> 仙台市立大倉小学校 (宮城県)	昭和38年より50年間にわたって、仙台市及び塩竈市の水源となっている大倉ダムの清掃美化活動を継続し水資源の保全に大きく貢献されている。
<small>ふくしましりつもにわちゆうがっこう</small> 福島市立茂庭中学校 (福島県)	福島県北部の水源地である摺上川の水質調査活動を、少人数で全校を挙げて、震災後も休止することなく20年間継続して実施しており、調査結果を地域に発信するなど、環境保全に貢献されている。
<small>なついがわりゆういきのかい</small> 夏井川流域の会 (福島県)	上下流で各々活動していた団体が、行政界を超えた夏井川流域全体を活動の場とする「夏井川流域の会」を結成し、健全な水循環の継承を進めるため、流域活動計画策定や流域連携活動の中心的役割を果たされている。
<small>かわにしとちかいりようく</small> 川西土地改良区 (新潟県)	小学生を主対象に、森林の水源地涵養の役割、農業用水の大切さをジオラマ等で説明し、故郷の土地や森林を守り、水源を守ることの大切さを啓発する活動が行われている。
<small>きょうとかせんびかだんたい</small> <small>れんごうかい</small> 京都河川美化団体 連合会 (京都府)	昭和47年から生命を育む清らかな自然を守り、健康で美しく潤いのある環境づくりを進めるため、桂川、鴨川、白川等12河川を活動フィールドに国民の最も重要な水資源である河川美化活動が行われている。

<p>ながおかきょうしさとやまさいせい 長岡京市里山再生 市民フォーラム (京都府)</p>	<p>長岡京市の西域4割を占める西山において、長年にわたり水源涵養に資する森林保全活動や、次世代を担う子ども達への環境教育に取り組まれている。</p>
<p>たかつきかんきょうしみん たかつき環境市民 かいぎみずかんきょうほぜん 会議水環境保全 グループ (大阪府)</p>	<p>「もったいない」を合言葉に、大切な資源である雨水の有効活用を目的として、平成19年に雨水タンク「たかつき天水くん」を開発し、雨水タンクの普及活動を始め、これまでの6年間で計390台を設置し雨水の有効利用に寄与されている。</p>
<p>まつもとちくせせらぎ 松本地区せせらぎ すいろうかんりかい 水路管理会 (兵庫県)</p>	<p>下水処理水を水源とする松本地区のせせらぎ水路において、水路内の藻の除去、水路周辺の花壇や道路の清掃活動を行っている。また、せせらぎ水路の活用や維持管理上の課題解決について、地域のまとめ役と活動するなど地域の活性化に貢献されている。</p>
<p>こうえきざいたんほうじん 公益財団法人 よしのがわきのかわげんりゅう 吉野川紀の川源流 ものがたり 物語 (奈良県)</p>	<p>紀の川(吉野川)源流に位置する川上村内のビジターセンター「森と水の源流館」と手つかずの原生林(740ha)を拠点とし、交流型の事業展開により、流域平野部の住民向けに、源流域の役割と河川環境に関わる啓発活動を実施している。設立から10年間の利用・交流人数は、約164,000人にのぼっている。</p>
<p>かせがわだむたいさく 嘉瀬川ダム対策 きようきかい 協議会 (佐賀県)</p>	<p>嘉瀬川ダム建設に伴う水没者の生活再建や関係者等との調整に尽力され、組織を挙げてダム建設の円滑な進捗に貢献するとともに、ダム周辺の植樹を通じた水源涵養、美化活動等の環境保全、及び下流受益地域との交流にも積極的に取り組まれ、地域振興・上下流交流など流域連携による取り組みの中心的な団体として活動されている。</p>